

公益財団法人 大阪府文化財センター

1. 法人の概要

【平成30年7月1日現在】 【役員名簿】

代表者名	理事長 田邊 征夫	設立年月日	昭和47年11月28日
電話番号	072(299)8791	法人所管課	教育庁文化財保護課
所在地	堺市南区竹城台3-21-4	HPアドレス	<a href="http://www.occh.or.jp">http://www.occh.or.jp</a>
設立目的	大阪府における文化財の調査、研究及び保存を行い、文化財の保護と活用を図り、もって大阪府民の文化財に対する理解と認識を深め、その文化的向上に資するとともに、我が国の文化の発展に寄与することを目的とする。 (平成14年4月、財団法人大阪府博物館協会と統合。同法人の事業、職員等を継承)		
一般財団法人または公益財団法人移行年月日	平成23年4月1日		
主な出捐団体 (出捐割合)	大阪府	10,000 千円	8.6%
	旧(財)大阪府博物館協会	100,500 千円	86.1%
	パナソニック(株)	5,000 千円	4.3%
	宗教法人四天王寺	500 千円	0.4%
	その他の団体	700 千円	0.6%
出捐総額	116,700 千円		
大阪府の実質的な出捐	110,000 千円 94.3%		
備考 (基本財産)	116,700 千円		

役職名	氏名	現職名	現任期終了	備考
理事長	田邊 征夫		H32.6	
専務理事	江浦 洋	(公財)大阪府文化財センター事務局長	H31.6	常勤
理事	秋山 芳廣		H31.6	
理事	網 伸也	近畿大学教授	H31.6	
理事	井藤 徹	日本民家集落博物館館長 (元大阪府教育庁文化財保護課参事)	H32.6	
理事	今井 涉	(公財)サントリー文化財団顧問・上席研究フェロー	H32.6	
理事	小野 昌輝	歴史街道推進協議会事業推進部長	H32.6	
理事	左近 考明	堺市文化観光局文化部長	H32.6	
理事	黒崎 直	大阪府立弥生文化博物館館長	H32.6	
理事	坂井 秀弥	奈良大学教授	H31.6	
理事	館野 和己	大阪府立近つ飛鳥博物館館長	H32.6	
理事	森屋 直樹	大阪府教育庁文化財保護課長	H31.6	
監事	鳴澤 成泰	行政書士 (元大阪府立中之島図書館館長)	H31.6	
監事	真川 正満	公認会計士・税理士	H31.6	

2. 役職員の状況

(単位:人) 【各年度7月1日時点】

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		府派遣	府OB	府派遣	府OB	府派遣	府OB
役員	常勤役員	1	0	1	0	1	0
	非常勤役員	12	1	12	1	13	1
職員	管理職	1	/	1	/	1	/
	プロパー職員	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般職	44	/	41	/	39	/
	プロパー職員	2	0	2	0	1	0
その他	2	0	2	0	1	0	
職員計		47	0	44	0	41	0

プロパー職員(42人)の給与に関する状況(平成29年度)

年間給与手当支給額平均	7,799 千円	平均年齢	49.9 歳
-------------	----------	------	--------

役員の数・任期・選任方法

定数 理事 10名以上15名以内  
 監事 2名以内  
 任期 理事 2年  
 監事 2年

選任方法

理事及び監事は、評議員会の決議により、選任する  
 理事長及び専務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する

3. 主要事業の概要

【事業規模(事業費)】

(単位:千円)

事業名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 予算	備考
① 埋蔵文化財調査の受託事業	686,050	424,828	355,466	663,762	大阪府域における道路、住宅等の開発事業に伴う事業者(国・大阪府・公社等)からの埋蔵文化財発掘調査の受託
全事業合計に占める割合	69.8%	58.0%	53.8%	69.4%	
② 近つ飛鳥博物館等の受託事業	141,408	135,257	134,059	132,517	府立近つ飛鳥博物館及び近つ飛鳥風土記の丘の管理・運営受託(指定管理)
全事業合計に占める割合	14.4%	18.5%	20.3%	13.8%	
③ 弥生文化博物館の受託事業	118,520	112,493	123,785	110,295	府立弥生文化博物館の管理・運営受託(指定管理)
全事業合計に占める割合	12.1%	15.4%	18.7%	11.5%	
④ 文化財資料活用事業	16,789	22,323	8,080	10,020	文化財資料活用事業
全事業合計に占める割合	1.7%	3.0%	1.2%	1.1%	
⑤ ①～④以外の事業	19,976	37,912	39,787	40,519	当財団が所有する日本民家集落博物館の管理・運営、泉佐野市立歴史館いずみさの管理運営受託(指定管理)
全事業合計に占める割合	2.0%	5.2%	6.0%	4.2%	
全事業合計	982,743	732,813	661,177	957,113	
全事業合計に占める割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

【事業計画及び事業実績】

事業内容	事項	事業量		備考
		平成29年度事業量	平成30年度計画量	
1 埋蔵文化財調査の受託事業	(1)埋蔵文化財発掘調査、遺物整理事業	24件 (うち、遺物整理事業のみ、11件)	22件 (うち、遺物整理事業のみ、5件)	
2 文化財資料活用事業	(1)発掘調査現地説明会・現地公開事業	年2回開催、参加者延べ 110名	年5回開催、参加者延べ 2,500名	
	(2)文化財講演会事業	年22回開催、参加者延べ 1,842名	年20回開催、参加者延べ 2,000名	
	(3)文化財体験学習事業	年19回開催、参加者延べ 567名	年20回開催、参加者延べ 600名	
	(4)文化財資料提供事業 他	発掘調査成果活用件数 70件	発掘調査成果活用件数 70件	
3 近つ飛鳥博物館及び近つ飛鳥風土記の丘受託事業(指定管理)	(1)常設展示	年間入館者数 97,044名 年間入園者数 105,881名 304日間	年間目標入館者数 98,400名 年間目標入園者数 96,600名	「こころの再生」府民運動への協力
	(2)特別展企画展事業	特別展・企画展等 4回・200日間 図録の刊行 2回	特別展・企画展等 4回・200日間 図録の刊行 3回	
	(3)講演会事業	47回		
	(4)「府民が参加する博物館」事業	ギャラリーの実施 14回	ギャラリーの実施 13回	
	(5)「博物館 in school」事業	小学校団体受入れ 23件 出前授業(小学校) 78回	小学校団体受入れ 27件 出前授業(小学校) 46回	
	(6)「どこでも博物館」事業	館外事業参加者数 69,589名	館外事業参加者数 19,850名	
	(7)「体験する博物館」事業	こどもファーストデイ 12回	こどもファーストデイ 12回	
	(8)広報普及事業	学校への利用促進活動 93回	学校への利用促進活動 63回	
	(9)研究事業	海外・国内研究者との交流 221名	海外・国内研究者との交流 70名	
	(10)資料調査収集製作事業	学術図書の収集等	学術図書の収集等	
	(11)サービス事業	利用者満足度調査の実施 通年	利用者満足度調査の実施 通年	

事業内容	事項	事業量		備考
		平成29年度事業量	平成30年度計画量	
4 弥生文化博物館受託事業(指定管理)	(1)常設展示 (2)特別展企画展事業 (3)講演会事業 (4)「府民が参加する博物館」事業 (5)「博物館 in school」事業  (6)「どこでも博物館」事業 (7)「体験する博物館」事業 (8)広報普及事業 (9)研究事業 (10)資料調査収集製作事業 (11)サービス事業	年間入館者数 45,341名 305日間 特別展・企画展等 4回・236日間 49回 ミュージアムコンサート 19回 小学校団体受入れ 101件 出前授業(小学校) 88回 館外事業参加者数 24,464名 体験ゾーンの活用 71団体・4,735名 学校への利用促進活動 216回 海外・国内研究者との交流 120名 学術図書の収集等 利用者満足度調査の実施 通年	年間目標入館者数 50,000名  特別展・企画展等 4回  ミュージアムコンサート 20回 小学校団体受入れ 130件 出前授業(小学校) 70回 館外事業参加者数 33,650名 体験ゾーンの活用 130回 学校への利用促進活動 184回 海外・国内研究者との交流 学術図書の収集等 利用者満足度調査の実施 通年	
5 歴史館いずみさの(指定管理)	(1)常設展示 (2)特別展企画展館蔵品展事業 (3)エントランスホールの運営 (4)普及事業 (5)学校教育連携  (6)市民・各種団体連携 (7)広報広聴活動	年間利用者数 10,734名 294日間 特別展・館蔵品展等 4回・249日間 歴史館ギャラリー 2回 講演会・講座・WS 39回 小中学校団体受入れ 6件 出前授業 7回 出張講座・講演会 15件 「歴史通信いずみさの」刊行 1回	年間利用者数 11,000名 - 特別展・館蔵品展等 4回 歴史館ギャラリー 講演会・講座・WS 小中学校団体受入れ 出前授業 出張講座・講演会 「歴史通信いずみさの」刊行 1回	
6 日本民家集落博物館事業	(1)展示事業  (2)各種催し事業  (3)普及啓発事業  (4)学校教育連携事業 (5)ボランティア受入活動事業 (6)施設整備事業 (7)広報事業 (8)資料収集・研究事業	年間入館者数 37,351名 常設展示 305日間 企画展示 2回 市民展示 9回 季節行事 7回 参加体験型事業 12件 貸部屋提供 207件 民家解説・囲炉裏体験 毎日 民家特別公開 週1日 校外学習受入れ 100校 登録者 75名 園路等補修 催し案内作成 2回 移築民家・収蔵民具に関する資料収集	年間目標入館者数 37,800名 常設展示 企画展示 1回 市民展示 3回 季節行事 8回 参加体験型事業 貸部屋提供 民家解説・囲炉裏体験 毎日 民家特別公開 週1日 校外学習受入れ 登録者募集 園路等補修 催し案内作成 2回	

4. 大阪府の財政的関与の状況

(単位:千円)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 予算	補助金、委託料等の内容
補 助 金	7,735	7,735	7,351	7,351	
(内訳) 文化財保存事業費(日本民家集落博物館展示公開事業)補助金	7,688	7,688	7,304	7,304	日本民家集落博物館の展示公開事業に係る補助金
(内訳) 文化財保存事業費(指定文化財管理)補助金	47	47	47	47	日本民家集落博物館の展示民家の自動火災報知機の法定点検に係る補助金
委 託 料	367,332	288,797	241,906	288,639	
(内訳) 埋蔵文化財発掘調査等委託料 (随契)	134,946	59,161	15,072	60,544	埋蔵文化財発掘調査に係る委託料(開発事業者負担分)
(内訳) 弥生文化博物館、近つ飛鳥博物館及び 近つ飛鳥風土記の丘管理運営委託料 (指定)	232,386	229,636	226,834	228,095	
貸 付 金	0	0	0	0	
その他(分担金・負担金・出捐金等)	0	0	0	0	
合 計	375,067	296,532	249,257	295,990	

府損失補償・債務保証契約に係る債務残高(期末)	0	0	0
府借入金残高(期末)	0	0	0

5. 財務状況

(単位:千円)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度比増減	分析・評価
貸借対照表	<b>資産合計</b>	2,201,621	2,117,415	2,101,412	△ 16,003	(未収金) 未収金の増加については、埋蔵文化財調査事業の精算払(42,293千円)が次年度に繰り越したことによる。  (特定資産) 特定資産の減少については、収支均衡を図るために財政調整引当資産の一部を取崩したことによる減(59,150千円)及び退職手当引き下げによる退職給付引当資産の減(14,335千円)が主な要因である。  (未払金) 未払金の増加については、埋蔵文化財調査事業に係る支払代金の未払分の増(23,749千円)、年度末が週末となり、退職金の支払いが次年度に繰り越したことによる増(35,238千円)が主な要因である。
	流動資産	109,255	93,041	147,431	54,390	
	現金預金	31,232	47,821	58,059	10,238	
	未収金	68,394	37,332	76,517	39,185	
	その他流動資産	9,630	7,888	12,855	4,967	
	固定資産	2,092,366	2,024,375	1,953,981	△ 70,394	
	基本財産	116,700	116,700	116,700	0	
	特定資産	1,386,543	1,346,174	1,301,387	△ 44,787	
	その他固定資産	589,122	561,501	535,895	△ 25,606	
	<b>負債合計</b>	572,579	524,600	561,539	36,939	
	流動負債	114,296	80,387	138,214	57,827	
	短期借入金	0	0	0	0	
	未払金	66,557	39,366	94,283	54,917	
	その他流動負債	47,739	41,021	43,931	2,910	
固定負債	458,283	444,212	423,325	△ 20,887		
長期借入金	0	0	0	0		
各種引当金	458,283	444,212	423,325	△ 20,887		
その他固定負債	0	0	0	0		
<b>正味財産合計</b>	1,629,042	1,592,816	1,539,873	△ 52,943		
指定正味財産	214,785	223,590	224,387	797		
一般正味財産	1,406,050	1,369,226	1,315,486	△ 53,740		

※単位未満は四捨五入を原則としたため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

(単位:千円)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度比増減	分析・評価
正味財産増減計算書	<b>(一般正味財産増減の部)</b>					
	経常収益	1,036,654	733,823	628,340	△ 105,483	(事業収益) 事業収益の減少については、埋蔵文化財調査事業における受託事業収益の減(110,417千円)が主な要因である。
	基本財産運用益	1,955	2,049	1,913	△ 136	
	特定資産運用益	18,606	18,095	14,165	△ 3,930	
	受取会費	0	0	0	0	
	事業収益	989,049	673,817	564,901	△ 108,916	
	受取補助金等	15,841	22,748	25,846	3,098	
	受取負担金	0	0	0	0	
	受取寄付金	1,676	1,022	1,514	492	
	その他の収入(受取利息収入等)	9,527	16,091	20,001	3,910	
	経常費用	1,030,573	770,645	681,192	△ 89,453	
	事業費	1,015,088	754,287	663,727	△ 90,560	
	管理費	15,485	16,357	17,465	1,108	
	当期経常増減額	6,081	△ 36,822	△ 52,853	△ 16,031	
	経常外収益	0	0	0	0	
	経常外費用	21	2	887	885	
	当期経常外増減額	△ 21	△ 2	△ 887	△ 885	
当期一般正味財産増減額	6,061	△ 36,824	△ 53,740	△ 16,916		
<b>(指定正味財産増減の部)</b>						
特定資産運用益	0	0	0	0		
受取寄付金	69	131	1,053	922		
受取会費	1,910	1,760	1,340	△ 420		
一般正味財産への振替	△ 1,907	1,294	△ 1,596	△ 2,890		
当期指定正味財産増減額	73	598	797	199		
正味財産期末残高	1,629,042	1,592,816	1,539,873	△ 52,943		

※単位未満は四捨五入を原則としたため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

仕組債の保有状況	保有総額<平成29年3月31日時点>	保有総額(A)<平成30年3月31日時点>	時価評価額(B)<平成30年3月31日時点>	保有総額と時価評価額差(B)-(A)
	0	0	0	0

主な経常費用	平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度比増減	分析・評価
役員人件費	10,716	9,960	8,250	△ 1,710	(職員人件費) 職員全員の定期昇給に加え、他府県出向職員の遠隔地手当及び単身赴任手当の増加によるものである。
職員人件費	373,072	374,779	379,998	5,219	
退職給付費用	26,487	21,722	14,351	△ 7,371	
減価償却費	31,057	29,293	25,987	△ 3,306	

主要経営指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度比増減	分析・評価
公益事業比率	公益事業費用／経常費用	98.5%	97.9%	97.4%	-0.5%	(人件費率) 人件費率の上昇は、事業費の減少によるものである。
人件費比率	人件費／経常費用	39.8%	52.7%	59.1%	6.4%	
自己収入比率	自己収入／経常収益	98.3%	96.6%	95.6%	-1.0%	
流動比率	流動資産／流動負債	95.6%	115.7%	106.7%	-9.0%	
借入金比率	借入金残高／負債・正味財産合計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

## 6. H29年度 経営目標の達成状況

I. 最重点目標(成果測定指標)								
戦略目標	成果測定指標	単位	H28実績	H29目標	H29実績(※1)	ウェイト	得点(※2)	小計(※3)
① 安定的財務基盤の確立	当期経常増減額	千円	△36,821	△99,702	△52,853	30	30	30/30 【100%】
II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)								
② 博物館利用者の拡大	博物館入館者数							37/45 【82%】
	学校への営業件数(プロセス)	件	372	270	341	3	3	
	① 弥生文化博物館	人	55,041	55,000	45,341	8	0	
	② 近つ飛鳥博物館		90,025	94,200	97,044	8	8	
③ 日本民家集落博物館	35,816		36,600	37,351	8	8		
③ 「出かける博物館」事業の活性化	館外事業の参加者数	人	55,253	53,100	93,525	5	5	
④ 埋蔵文化財発掘調査成果の活用	発掘調査の現地公開、セミナー等の参加者数	人	5,990	6,000	7,621	13	13	
III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)								
⑤ (効率的経営の推進) (民家集落博物館展示民家保存修理のための自主財源の確保)	利用者一人あたり経費(事業費/利用者数)	円	1,233	1,210	1,126	10	10	25/25 【100%】
	埋蔵文化財調査担当者一人あたりの調査面積	m <sup>2</sup>	5,612	3,850	6,118	10	10	
	賛助金・寄附金	円	1,855,000	1,900,000	2,292,632	5	5	

※1 網掛けは目標達成項目。

※2 目標値が前年度実績以上の場合、当該年度の実績値が目標値に到達しないときでも、達成状況に応じて加点を行う。

※3 小計の【 】は得点率。



## 7. 評価結果

法人の総合的評価結果	点数(合計)	役員業績 評価
<p>当財団の事業の根幹をなす埋蔵文化財調査事業は、公共事業の減少と連動し、それに伴う事業件数の減少が続いている。これに対応し、職員の他府県出向の増員や調査担当者の効率的配置および経費節減に努め、当初予算の赤字予想を半分以下に抑えることができた。</p> <p>平成29年度は、埋蔵文化財の調査件数が少なかったことに加えて、短期かつ小規模な調査現場が多いなどの事情により、現地の一般公開は少なめであったが、博物館での速報展示を行うなどして、それをおぎなった。</p> <p>府立博物館については、近鉄ビルサービス株式会社との共同体で指定管理を行い、効率的かつ効果的な運営管理を遂行し、外部資金として文化庁の補助金を獲得し、事業を活性化させることにより、「弥生文化博物館入館者数」を除き、全ての成果測定指標で目標を達成することができた。</p> <p>日本民家集落博物館の運営については、依然として財務的に厳しいものがあるなか、野外博物館の特性をいかし四季折々のイベントを開催している。平成29年度に関しては、小学校団体への営業が奏功し、平成28年度に比べて小学校団体の見学は12校の増となり、結果、入館者数の目標をクリアすることができた。</p> <p>また、平成28年度から指定管理者として管理運営を行っている泉佐野市立歴史館いずみさのに関しては5年間の指定管理期間の2年目ということで安定した形で事業を遂行し、市教育委員会や地元との連携を通して、円滑に事業を進めることができた。</p> <p>公共事業等の開発事業の減少にともなう埋蔵文化財調査事業の減少は、当法人の努力のみでは、いかんともしがたいところであり、これまで同様、府内市町村事業や民間開発事業の受託に努めるとともに、公益財団法人として文化財の保護ならびに調査成果の活用・普及等の分野での役割を果たしていくため、これまでに蓄積した資料やノウハウを有効に活用し、新たな指定管理受託も検討し、今後も自立化に向けてより一層の取り組みを進めていきたい。</p>	92	A

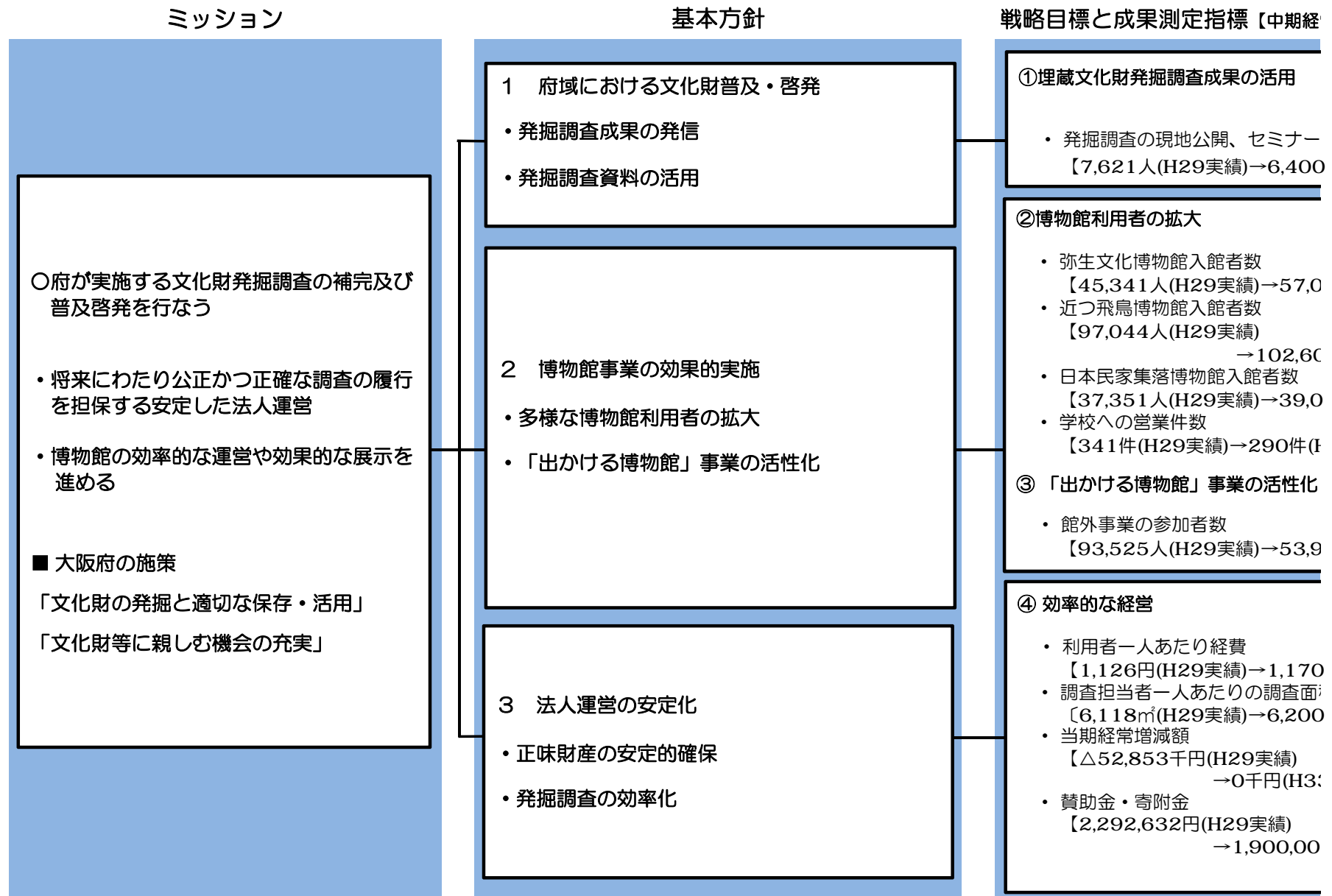
## 8. 府の審査・評価の結果

審査の結果	経営状況、事業の実施状況その他の事項に関する府の評価結果及び指導・助言
<p>・「当期経常増減額」について、ここ数年、埋蔵文化財発掘調査事業の赤字傾向が続いていたため、目標を△99,702千円とされていたが、他府県への職員派遣の増員や経費節減に努めた結果、赤字額を△52,853千円まで圧縮したことは評価できる。</p> <p>・また、「近つ飛鳥博物館及び日本民家集落博物館の入館者数」についても目標を大きく上回るとともに、「発掘調査の現地公開・セミナー等の参加者数」についても目標を達成した。</p>	<p>(評価)</p> <p>・平成28年度に達成できなかった6項目(「当期経常増減額」、「近つ飛鳥博物館入館者数」、「日本民家集落博物館入館者数」、「館外事業の参加者数」、「利用者一人あたり経費」及び「賛助金・寄附金」)について、平成29年5月に策定した中期経営計画に基づき、他府県への職員派遣や他博物館との連携展示に取り組んだことにより、目標を達成したことは評価できる。</p> <p>・「弥生文化博物館入館者数」については、2年連続して目標未達成となっており、一層の努力が必要である。</p> <p>(指導・助言)</p> <p>・法人の基幹事業である埋蔵文化財調査事業は、大阪府内の公共事業量に影響されるところではあるが、安定的な法人運営のため、引き続き柔軟な組織体制をすすめるとともに、市町村や民間開発事業を積極的に受託するよう努めること。</p> <p>・博物館利用者の拡大に向け、他博物館、民間企業及び大学との連携・協働をすすめ、ワークショップや企画展等のコンテンツの充実をはかること。</p>

## 9. 「平成30年度大阪府行政経営の取組み」における方向性(平成30年2月)

- 存続
- ・大阪市の動向を注視しつつ、大阪府の文化施設の合流手法について検討する

# 10. 経営目標設定の考え方



センター

【営計画上の目標値】

等の参加者数  
)人(H33)】

00人(H31)】

0人(H31)】

00人(H31)】

H31)】

00人(H31)】

)円(H31)】

積  
)㎡(H30)】

3)】

0円(H31)】

## 11. H30年度 目標設定表

### I. 最重点目標(成果測定指標)

戦略目標	成果測定指標	単位	H28実績	H29実績	H30目標	ウェイト (H30)	中期経営計画 最終年度 目標値(H33)
① 埋蔵文化財発掘調査成果の活用	発掘調査の現地公開・セミナー等の参加者数	人	5,990	7,621	10,000	40	6,400
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)							具体的活動事項
最重点とする理由、 経営上の位置付け	<p>○当法人では平成29年度に策定した中期経営計画のビジョンとして、以下の3本柱を設定している。</p> <p>①【文化財で心を豊かに】⇒「温故知新」で文化力向上 ②【文化財を身近に】⇒歴史教育への寄与 ③【新たなステージへ】⇒新たな成長への挑戦</p> <p>○具体的には、①「文化財を通して、先人の知恵と工夫を学び、これを府民に伝える」、②「博物館管理運営事業や文化財公開活用事業を通して、明日を担う子ども達に歴史を学ぶことの大切さを具体的に伝える」、③「公共事業が減少するなか、市町村・民間の埋蔵文化財調査事業の受託のほか、新たな博物館の指定管理の受託」を目指している。</p> <p>○国民共有の財産である埋蔵文化財調査の第一線に立つ法人として、様々な世代の人々に広く文化財を調査する意味と意義を伝えることが重要であると考えている。結果的に、このことが、当法人の社会的な存在意義をも高めるものと考えている。</p>						<p>○発掘調査現場の現地公開の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地説明会の開催</li> <li>・地元学校の見学受け入れ</li> <li>・地元自治会を対象とし現地公開の開催</li> </ul> <p>○発掘調査資料の活用・公開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府立博物館(指定管理)における調査成果の速報展示および講演会の実施</li> <li>・泉佐野市立歴史館いずみさの(指定管理)における展示企画への積極的活用</li> </ul>
最重点目標達成のための 組織の課題、改善点	<p>課題</p> <p>○発掘調査現場の公開に関しては、重要な調査成果が得られた際には、事業者の協力のもと、可能な限り現地を公開する方針をとっている。また、近隣の小学校等の見学の機会を設けるようにしている。しかし、最近では、大規模な公共事業が減少し、短期間の小規模な調査が増加し、現地を公開するための時間的な余裕がとれないことも多くなってきている。</p> <p>改善点</p> <p>○現地での公開が困難な場合などは、博物館におけるスポット展示などを通して、府民に調査成果を還元する。また、幅広い世代に訴求できるように、様々なツールを活用するほか、ホームページなど、インターネットによる情報発信を充実させるために、その内容と方法を多角的かつ効果的に進める。</p>						<p>○学校教育との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発掘現場への近隣小学校の見学誘致</li> <li>・博物館事業として出前授業の充実</li> <li>・高校生の考古学体験の受け入れ</li> <li>・大学との連携による考古学関連の講義</li> </ul> <p>○民間企業との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近鉄文化サロンと連携し、連続講演会を実施</li> <li>・ハルカス(近鉄百貨店本店)の「まなぼスタジオ」における子ども向けワークショップの実施</li> <li>・民間旅行会社との連携による文化財見学ツアーの企画</li> </ul>
活動方針	<p>○民間企業との連携をさらに強固なものとし、当財団がもつ企画力と専門分野をもつ豊富な人材と民間企業がもつ広報力、ネットワークを相互に活用し、Win-Winの関係で事業を進める。</p> <p>○大阪府の各地に展開する博物館での展示事業によって地域とのつながりも大切にするが、一般府民が多く集まる市内中心部においても積極的に講演会を行い、当財団ならびに博物館の知名度がアップするよう事業を推進する。</p>						<p>○多様なニーズに合わせた情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページなどによる情報発信機能の充実</li> <li>・SNSを活用した情報発信</li> <li>・報道提供によるマスメディアによる情報発信</li> </ul>

II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	単位	H28実績	H29実績	H30目標	ウエイト (H30)	中期経営計画 最終年度 目標値(H33)	戦略目標達成のための活動事項
② 博物館利用者の拡大	博物館入館者数							
	学校への営業件数(プロセス)	件	372	341	280	3	290 *	○来館した学校への継続的な訪問・誘致活動の実施。 ○校長会などでの博物館体験プログラム等の説明による利用促進。
	i 弥生文化博物館	人	55,041	45,341	50,000	8	57,000 *	i ○館キャラとして定着したマスコットキャラクターを使った教材や情報発信によるリピーター増加方策の推進。 ○「はくふだ」(博物館カード)による、博物館ネットワークを構築し、子どもの継続的な来館を促す学習メニューのより一層の充実。 ○専門性を活かし、他館・他施設と連携した各種事業の推進。
	ii 近つ飛鳥博物館		90,025	97,044	98,400	8	102,600 *	ii ○百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録に協力し、博物館利用をふくめた相乗効果を発揮。 ○大阪府が計画しているリニューアルに協力し、より良い博物館施設の創出。
iii 日本民家集落博物館	35,816		37,351	37,800	8	39,000 *	iii ○団体旅行にかわって増加している外国人の個人観光客のロコミによる利用拡大を目指して、好感度アップのためのスタッフ教育。	
③ 「出かける博物館」事業の活性化	館外事業の参加者数	人	55,253	93,525	53,500	5	53,900 *	○他の博物館・資料館との連携事業の強化。 ○学校や民間企業とも連携し、出前事業や出張講座、展示事業などを積極的に展開。

III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

④ (効率的経営の推進) (安定的財基盤の確立) (民家集落博物館展示民家保存修理のための自主財源の確保)	効率的な経営 (博物館事業の効果的实施) 利用者一人あたり経費 (事業費/利用者数)	円	1,233	1,126	1,190	4	1,170 *	○リピーターの確保に加えて、若年層や女性、外国人などの新たな来館者層の開拓を行う。
	埋蔵文化財調査担当者一人あたりの調査面積 (総調査面積/現地調査従事人数)	m <sup>2</sup>	5,612	6,118	6,200	10	—	○市町村や民間が主導する区画整理などの情報を収集し、当財団が得意とする大規模調査を受託。
	当期経常増減額	千円	△ 36,821	△ 52,853	0	10	0	○埋蔵文化財調査事業の積極的受託に加えて、柔軟な組織体制を構築。
	賛助金・寄附金	円	1,855,000	2,280,000	1,900,000	4	1,900,000 *	○企業等からの賛助金が中止・減額されるなかにあつて、個人寄附の拡大により、自主財源確保をめざす。

\* 指定管理期間の最終年度である平成31年度の目標値を記入

※ ( )は当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値